

兵庫の刑法犯認知 戦後最少

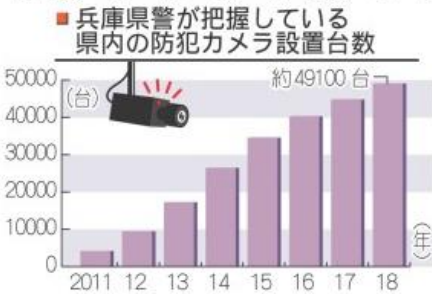
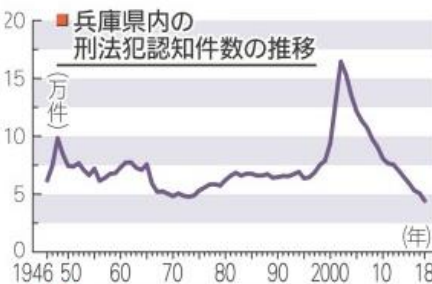
18年 防犯カメラ増、捜査と連携

2018年の兵庫県内の刑法犯認知件数が4万4233件となり、1973年以来45年ぶりに戦後最少を更新した。防犯カメラをはじめとする「セキュリティーンフラ」の整備と、兵庫県警の捜査との連携が進んだことが主な要因とみられ、戦後最多だった02年の約4分の1のレベルになった。内訳では、窃盗犯が大幅に減る一方、傷害などの粗暴犯は増加した。

窃盗犯が大幅減

県内の刑法犯認知件数は2000年ごろに急増した。特に都市部を中心にひったくりなどが増え、02年には戦後最多の16万4445件を記録。県警は翌03年

を「治安回復元年」と位置付け、罪種別、地域別の取り締まりを強化した。自治体や民間企業による防犯カメラの設置も進み、18年末時点で県警が把握す



る屋外のカメらは約4万9千カ所に上る。県警はこうした画像を収集・分析する「機動支援係」を刑事企画課内に設置。カメラ活用などがひったくりや常習の侵入盗の早期逮捕につながり、18年の認知件数は45年ぶりに戦後最少となった。罪種別で減少幅が最も大きかったのはオートバイ盗(36・7%減)で、最も増加したのは強制性交等(69・2%増)。殺人、強盗、放火、強制性交等、略取誘拐、強制わいせつの「重要犯罪」は計608件で、02年を311件下回った。中でも「強盗」は93件で、02年比71・5%減。コンビニなどでカメラなどの防犯

る。また、人工能(AI)技術の活用なども検討し、摘発率の向上や犯罪予防に努め、刑法犯認知件数の減少につなげる。

NIEワークシート／中学校～高校／社会、総合、学活、朝NIE

名前【 】

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

② 2002年の刑法犯認知件数は何件でしたか。

件

③ 2018年の刑法犯認知件数は何件でしたか。

件

④ この記事からわかる刑法犯をあと六つ書き出してみましよう。

- ・ 窃盗
- ・ 傷害

① 兵庫県内の2018年度の刑法犯認知件数が戦後最少を更新しました。その主な要因とみられる部分を書き出しましょう。